

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1094	(H.24)No.	1094
-----------	------	-----------	------

事務事業名	バイオマスタウン構想推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	産業政策室	井面 清司	

会計区分	事業コード	304501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 農林水産業費	バイオマスタウン構想推進事業	
項 農業費	(小事業名)	
目 農業総務費	バイオマスタウン構想推進事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施策	1	都市産業
	小施策	3	新産業の創造・育成
重点施策コード	4-2.資源循環型社会の構築(バイオマスタウン構想の推進)		

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
バイオマスタウン構想の推進により、資源循環型社会の実現に向けて地域バイオマス資源が有効活用され、廃棄物の減量化にも寄与する。また、バイオマス活用による新産業の創造により、地域経済への波及効果が期待される。

事業内容
産業振興ビジョンにおける「環境産業創造プラン」の推進を図るため、策定されたバイオマスタウン構想を推進し、地域バイオマス資源の積極的な活用を行う。 平成25年度については木質バイオマス資源の利活用を図るため、補助金を創設し、未利用間伐材のエネルギー利用につなげる。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	委託料 1,396,500円 ・木質バイオマス資源原料調達システム検討業務委託 ・バイオマス活用産業研究調査業務委託  使用賃借料 99,750円 ・原料調達システム検討調査に係るトラックスケール借上  旅費 33,520円 ・リグノフェノール技術組合会議参加旅費ほか	負担金補助及び交付金(500千円) ・木質バイオマス資源活用推進助成事業補助金

H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
負担金補助及び交付金(500千円) ・木質バイオマス資源活用推進助成事業補助金 バイオマスタウン推進協議会開催	負担金補助及び交付金(500千円) ・木質バイオマス資源活用推進助成事業補助金 バイオマスタウン推進協議会開催	負担金補助及び交付金(500千円) ・木質バイオマス資源活用推進助成事業補助金 バイオマスタウン推進協議会開催

	H.24年度(決算見込)		H.25年度(作成時予算額)		H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	1,530千円		500千円		500千円	500千円	500千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他( )							
一般財源	(0)	1,530	500	500	500	500	500
人員数							
職員	0.27人		0.38人		0.38人	0.38人	0.38人
臨時職員等							
概算人件費	(0千円)	2,079千円	2,926千円	2,926千円	2,926千円	2,926千円	2,926千円
+ 総事業費	(0千円)	3,609千円	3,426千円	3,426千円	3,426千円	3,426千円	3,426千円

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
東日本大震災の影響により、バイオマス資源利活用に関するの施策方針がエネルギー利用に特化した。これに伴い、平成24年度には特に木質バイオマス発電に係る未利用間伐材供給システムの検討を行った。平成26年度の県内で稼働予定の発電所の間伐材の集積・供給システムを構築する必要がある。	平成25年度から、未利用間伐材の木質バイオマス発電への供給を目的とした補助金を創設し、未利用間伐材等の集積を図る。 また、エネルギー利用以外のバイオマス資源利活用について、国等の支援制度を検討しつつ、民間での取り組み支援に努める。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	未利用間伐材等の木質バイオマス資源の活用推進を図ることにより、森林環境の整備や防災、地球温暖化防止に寄与できる。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある( 検討内容を記載 )	バイオマス利活用に向け、市民やNPO団体等と連携の可能性が有る。特に、水田跡地などに造林された木材利用など木質バイオマス資源について地域づくり組織との連携が必要である。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 名張市バイオマスタウン構想
平成26年度から導入される「みえ森と緑の県民税」の活用も含め、再生可能エネルギー資源としての木質バイオマス資源の活用拡大に向けて、平成26年度以降の事業拡大について検討が必要。	